

介護総合演習V

担当教員 吉岡 久美

配当年次 3年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 第1学期

授業形態 演習

単位数 2

【授業のねらい】

居宅介護、グループホーム等に関する制度を理解し、利用者の生活形態、家族関係を考慮した生活援助を学ぶ。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	グループホームに関する制度と利用者の生活を理解する
2	在宅生活をする介護が必要な対象者の生活を理解する
3	在宅生活を支援する介護の専門性と実践を理解する
4	居宅支援に位置づけられる福祉サービスを理解する
5	居宅支援の実践者とその役割を理解する
6	居宅支援における介護福祉士の役割を探求する（グループワーク）
7	居宅支援のチームアプローチにおける連携方法を考える
8	居宅支援の実践に必要な接遇等を考える
9	これまでの実習を振り返り、居宅支援の実施にむけた自己課題を明確化する
10	介護実習Vの目的を明確化し、目標設定をする
11	介護実習Vの行動計画を作成する
12	実習施設の理解を深め、考えられる利用者像をもとに生活支援を検討する
13	介護実習Vの直前指導として、課題を確認して実習における行動と学習を検討する
14	介護実習Vを振り返り、自己評価をもとに目標達成状況の確認と報告書作成をする
15	介護の対象者の理解、施設理解、生活支援技術の提供等について総合的にまとめ発表する

【履修上の注意事項】

事前学習として、単元に関するテキストを読んでもらうこと。
事後学習では、演習における課題に取り組むこと。

【評価方法】

演習への積極性、参加態度：60% 提出物（課題、レポート等）：40%

【テキスト】

新) 介護福祉士養成講座編集『介護総合演習・介護実習』中央法規 最新版

【参考文献】

介護実習要項等